



岐阜 子どもがいきいき するために 保育研究会 第23回大会

開催日 11月25日[土]

会場 岐阜聖徳学園大学岐阜キャンパス
〒500-8288 岐阜市中鷄1丁目38 TEL.058-278-0711(代表)

／ 詳細はこちら ／



主催：岐阜聖徳学園大学短期大学部幼児教育学科／岐阜保育研究会
後援：岐阜県／岐阜県教育委員会／岐阜市／岐阜市教育委員会／岐阜県社会福祉協議会

岐阜 子どもがいきいき するために 保育研究会 第23回大会

開催日

11月25日[土]

会場

岐阜聖徳学園大学岐阜キャンパス
〒500-8288 岐阜市中鷄1丁目38 TEL.058-278-0711(代表)



目次

- 01 ごあいさつ
- 02 大会プログラム
- 03 校舎見取り図／ご参加のみなさまへ

特別講演

- 04 「子どもの主体的な活動と保育者の役割 ―共鳴するってなんだろう―」
- 06 特別講演 参加申し込みについて

保育者向け企画

- 08 保育者のための実践講座
- 09 保育者のための実践講座 参加申し込みについて

子ども(親子)向け企画

- 10 あそびひろば
- 12 来場者への会場案内

ごあいさつ

岐阜保育研究会第23回大会
実行委員長 安部日珠沙

岐阜保育研究会第23回大会を開催するに当たり、皆様にご挨拶を申し上げます。

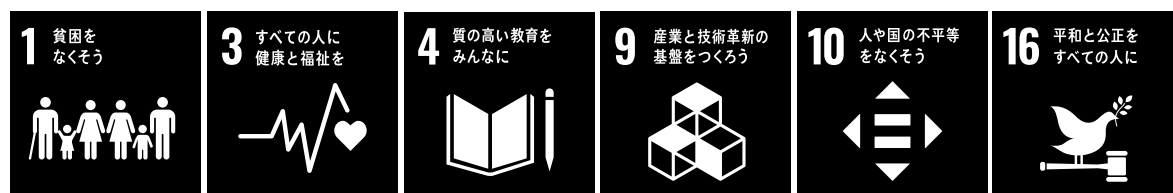
今大会は第20回大会以来の4年ぶりの現地開催となります。2020年に発生した新型コロナウイルス感染症は、私たちの日常生活や働き方にさまざまな変化や制限をもたらしました。イベントや行事などの現地開催に対しては中止や自粛が求められ、本会も2020年度の開催を中止したり、第21回大会(2021年度)と第22回大会(2022年度)をオンラインで開催したりするなど、社会に与えた影響の大きさと広さは記憶に新しいところです。

今年3月13日からマスクの着用が個人判断となり、5月8日からは新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類へと移行し、従来の行動制限がなくなったことから、現地開催で行われるイベントが増えてきました。本会においても、社会がコロナ禍以前の生活を取り戻しつつあることを踏まえて、往年のように、皆様と直接お会いし、にぎやかな秋のひとつときを共にしたく、今大会は現地開催で実施することにいたしました。

今大会は「子どもがいきいきするために」というテーマのもと、「特別講演」や「保育者のための実践講座」、「あそびひろば」を企画しております。「特別講演」には、佛教大学教育学部教授の小林みどり先生をお招きし、「子どもの主体的な活動と保育者の役割—共鳴するってなんだろう—」というテーマでご講演いただきます。小林先生は、幼稚園教諭として現場でご活躍された後、幼児教育学や保育カリキュラム論などの研究に従事されてきました。この度は、子どもの環境と活動に直に関わる保育者の役割という観点から、今後の幼児教育・保育・子育てなどに係るご教示をいただき、皆様と共に学びを深めていくことができればと思っております。

また、保育者の皆様と本学の教員が幼児教育・保育について一緒に考えていく「保育者のための実践講座」は、今年度は9講座を準備しておりますが、内3講座を大会当日に開講します。さらに、本学の学生たちが、地域の子どもやその保護者の皆様を対象として、これまでの学びや研究の成果をもとに企画・運営する「あそびひろば」も今大会から再開いたします。さまざまな企画を通じて、今大会が、幼児教育・保育について皆様と互いに学び合う機会となり、持続可能な開発目標(SDGs)が掲げる「誰一人取り残さない」社会の実現にも幼児教育・保育の見地から貢献できればと考えております。

実行委員一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。そして、晩秋の一日を今大会にてごゆっくりお過ごしください。



大会プログラム

保育者／一般向け

特別講演 13:30~15:00 →P.4

「子どもの主体的な活動と保育者の役割 ー共鳴するってなんだろうー」

講師：小林みどり先生 佛教大学教育学部教授

保育者向け 受付開始 9:30

保育者のための実践講座 10:00~12:00 →P.8

実践講座④ 社会的養護における子どもの権利擁護（藤田 哲也）

実践講座⑤ 気になる子どもの保護者に対する子育て支援（徳広 圭子）

実践講座⑥ 子ども自身の必要感や関心による保育を探る（石田 開）

子ども（親子）向け 受付開始 10:20

あそびひろば 10:30~15:30 →P.10

- ① 長川ゼミ 子ども向けミュージカル「青い鳥」
- ② 内藤ゼミ お宝見つけてゲットだぜ！
- ③ 田中ゼミ お祭り／スノードームをつくろう
- ④ 徳広ゼミ いろいろ！ペッタン？ ペッタンコ！！
- ⑤ 安部ゼミ フリスビーをサンタさんにヒューン！
- ⑥ 石田ゼミ ボールをあてて、フルーツをゲット！ えっ？ ミックスジュース！？
- ⑦ 藤田ゼミ はらぺこあおむしになってあそぼう
- ⑧ 大西ゼミ あつまれ！ ふうせんのくに。
- ⑨ 木許ゼミ パーカッション・アンサンブル・コンサート
- ⑩ 熊田ゼミ 『おはなし広場』人形劇をみんなで楽しもう
- ⑪ 糟谷ゼミ タブレットであそぼう

参加申し込み

特別講演

<https://forms.gle/NPQqvXEfiMPRRvJ26>

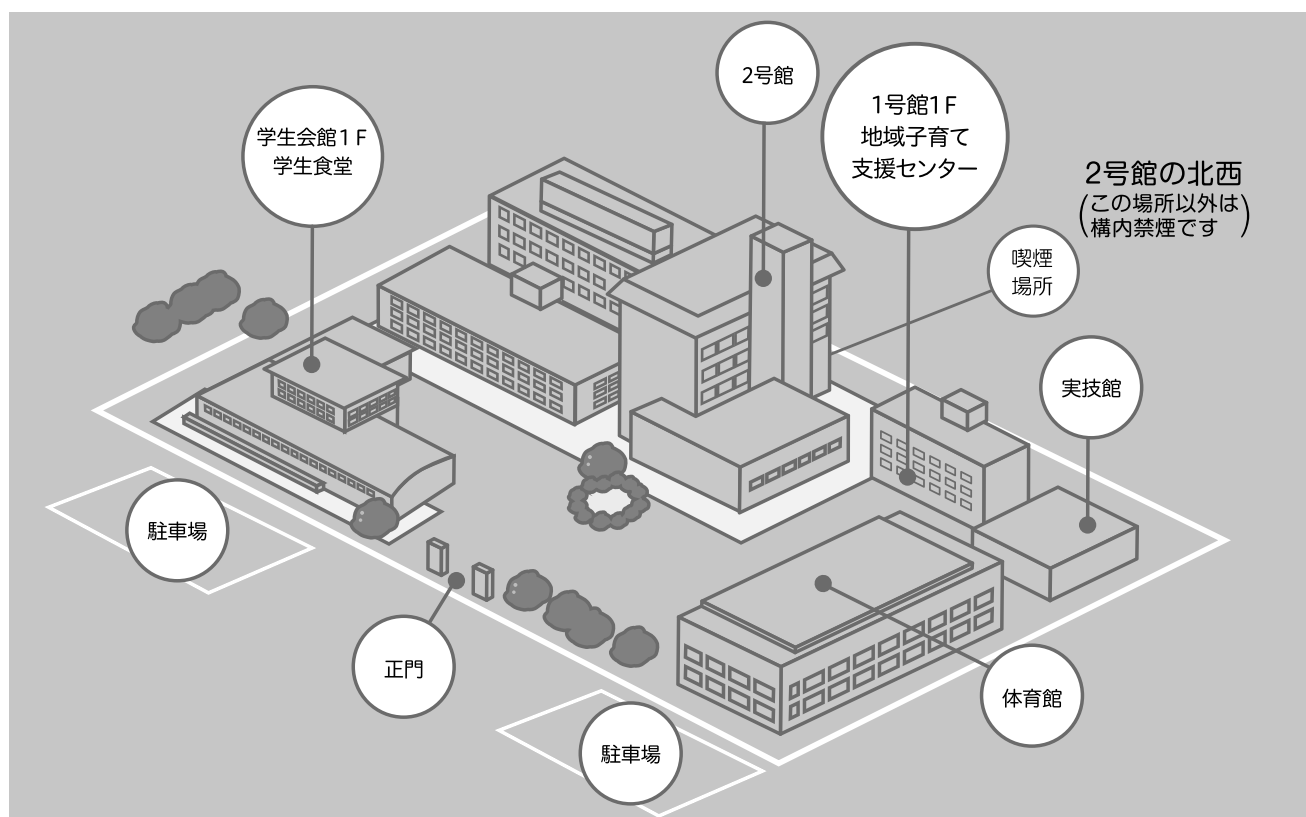
保育者のための実践講座

<https://forms.gle/KhsmWqvw9QJffkY8>



校舎見取り図

キャンパス案内図



ご参加のみなさまへ

受付【2号館1階】 保育者のための実践講座 9:30～／あそびひろば 10:20～
大会に参加される方は、必ず受付手続きを行ってください(保育者／一般向けプログラム、子ども向けプログラムとも)。会場内では受付でお渡しする参加者章をご着用ください。

昼食【学生会館1階】 11:30～13:00

学生食堂を営業(軽食のみ)いたしますのでご利用ください。

※食物アレルギーをお持ちの方は食堂入口前の注意事項を必ずご確認ください。

※持ち込まれたお弁当などのお食事休憩にもご利用いただけます。

授乳・おむつ交換【1号館1階 子育て支援センター内】 9:30～15:40

ご自由にご利用ください。※子育て支援センターは託児スペースではありません。

子どもの主体的な活動と保育者の役割 — 共鳴するってなんだろう —

講師：小林みどり 先生 佛教大学教育学部 教授

会場 2号館 3階 多目的ホール

時間 13:30～15:00



《略歴》

兵庫県生まれ。兵庫教育大学大学院学校教育研究科修了(学校教育学)。兵庫県姫路市立幼稚園、兵庫教育大学附属幼稚園で幼稚園教諭として勤務したのち、保育者養成に携わり、現在、佛教大学教育学部幼児教育学科教授。専門は、保育カリキュラム、保育内容「言葉」「人間関係」、保育者の職能論。現在は、「多様性からみる幼児教育が目指すもの」「保育者と子どもの関係構築プロセス」をテーマに研究を行っている。

〈主著〉『教育課程・保育課程論』2019年、みらい(共著)、『保育実践につなぐ保育内容総論』2021年、みらい(共編著)、『乳幼児保育における遊びの環境と援助』2023年、ナカニシヤ出版(共著)、『新・保育と人間関係』2023年、嵯峨野書院(共編著)

講演概要

保育の仕事をしている方、保育職を目指して勉強されている方、あるいは子どもに関わる様々なことに興味をもたれている方、いろいろいらっしゃると思います。保育の仕事をしている方は、おそらく大学等で保育について学び、免許・資格を取得して保育現場に就職されました。保育者になりました。保育者として子どもの傍らでともに暮らしています。

「保育者の仕事ってなんですか?」と聞かれたら、どのように答えますか?

あるいは、保育者である自分は、保育者ですか?自分が保育者になった、と思えるようになったのは、いつでしたか?

『あおくんときいろちゃん』(レオ・レオーニ・作、藤田圭雄・訳、至光社、1967年)という絵本があります。読み取り方は、様々で、読む人、読むときによって、様々なメッセージを受け取ることができる絵本です。

保育者を目指す学生に「保育観」の話をするときに、この絵本を取り上げます。いろいろな先輩の先生方と一緒に保育をして、先生方の影響を受けて、自分の保育観を膨らませていくように、と。ちょうど、この青や黄色の丸が、いろいろな色を交えながら大きく膨らんでいくようなイメージです。

「だけど」と必ず付け加えます。「自分の色は大事にしてください」と。いろいろな色と混じって、でも、自分の色、自分の保育観、価値観を大事にしてください、という話をします。

今回は青色と黄色が混ざり合って重なっていくということを、少し異なる視点、保育者と子どもが行う保育という視点から考えてみましょう。

『幼稚園教育要領解説』（文部科学省、2018年、pp.116-118）に、「教師の役割」が書かれています。今回は、2つの言葉に着目して考えてみます。一つは「適切な指導」と言う言葉、もう一つは「共鳴する者」という言葉です。

「適切な指導」の「指導」という言葉を、どのように捉えますか。ややもすれば、いわゆる「教える保育」、あれも、これも、と子どもにさせる「保育者主導型の保育」になってしまいます。一方で、子どもの主体性を大事に、と、なにもせずに「見守る保育」になってしまっている場合もあります。

保育においては「子ども理解」が大切であると言われています。「子ども理解」ということも、実際はとても難しいことです。保育者や保護者といった大人の側から見た「この子はいい子」「この子は〇〇な子」を出発点として子どもを捉えよう、理解しようとする、大人の考える「子ども像」になっていかない子どもに出会うと「手に負えない」と戸惑います。保育者自身の力不足だと落ち込んだり、それでも諦めずに頑張らなければと気負ったりしてしまいがちです。

もう一つの「共鳴する」という言葉についても考えてみましょう。保育の中で「共感する」「受け止める」という言葉は、よく使いますが、「共鳴する」という言葉は、保育の中ではあまり使っていないのではないのでしょうか。

「共鳴する」という言葉に最近着目しています。保育現場に行って保育を観察させていただく機会があります。保育をしていらっしゃる先生方の表情や言葉はもちろんですが、体の動きのしなやかさに目が留まることが多くなりました。とくに言葉はないのだけれど、子どもに呼応するように体が動いています。また、遊んでいる子どもの周りに置いてある遊具や用具の位置をそっと動かしたり、出したり片付けたりといったことを常にしています。「共鳴する」というのは、このようなことではないかと考えます。環境を通した保育が大切であるということはよく分かっています。一方で「環境の構成」というと、遊びの最初にどのように遊具や用具を配置するかということに重点が置かれ、片付けをするまで同じ場所に置かれたままであることも保育現場ではよくあることのように感じます。

泣いたり、わめいたり、ときには地面に寝転んでかんしゃくを起こしたり、言葉にならずにじっと黙り込んだりする子どもがいたら、大人は、子どもの思いを分かろうとあれこれ想像して、ついつい泣き止ませようとしてしまいがちです。その時、子どもの意見を聞いているのでしょうか。子ども理解というと、子どもがなにを考えているのか、なにがしたいのかを、じっと見て推察する、というように思いがちです。

「共鳴する」ということは、子ども同士の間にもあります。お互いを分かり合う双方向です。同様に保育者と子どもの間で考えると、子どもが保育者のことを分かるという双方向が考えられます。「共鳴する」を双方向から考えていくと、子どもはどのように保育者のことを分かっているのだろうという視点も出てきて、興味が広がります。

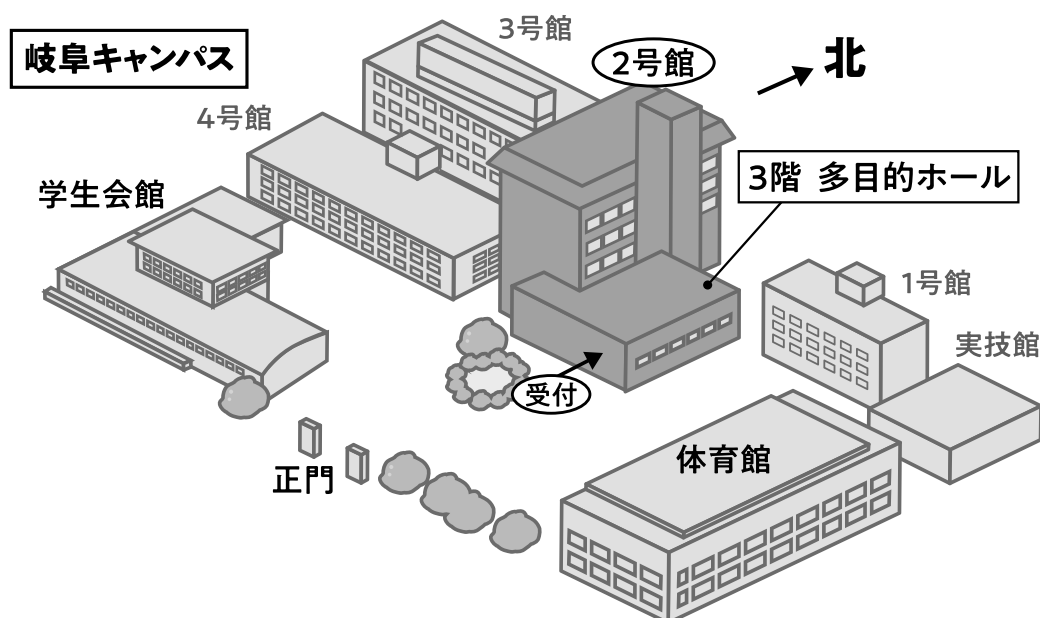
特別講演 参加申し込みについて

開催日時 2023年11月25日(土)13:30～15:00(参加無料)

●対象

幼稚園や保育所等で働いておられる方だけでなく、子育て中の保護者のみなさま、幼児教育・保育に関心を持っておられる高校生など、幼児教育・保育・子育て支援に関心のある方であれば、どなたでもご参加いただけます。

●会場：2号館3階 多目的ホール



●申し込み方法

下記のURLにアクセスしていただき必要事項を記入の上お申し込みください。参加のお申し込みにあたりご提供いただいた個人情報は、本大会の運営・管理の目的に限って使用します。

<https://forms.gle/NPQqvXEfiMPRRvJ26>



●申し込み期限：2023年11月23日(木)

※当日参加も可能ですが、会場準備のためできれば事前にお申し込みください。

MEMO

A series of horizontal wavy lines for writing, filling the majority of the page below the title.

保育者のための実践講座

10:00～12:00

保育士、幼稚園教諭、保育教諭を始めとして、保育・幼児教育にかかわる先生方を対象に、先生方の保育実践にお役立ていただくため、本学教員が実施する講座です。

※原則として事前のお申し込みをお願いいたします。

※+オンラインの表記がある講座はオンラインでのご参加も可能です。

※会場でのご参加については、定員の範囲で当日参加もお受けします。

実践講座④ 社会的養護における子どもの権利擁護（藤田哲也）

10:00～11:30 会場：2号館4階245講義室／定員10名

社会的養護の下で暮らす子どもたちは入所前にどのような生活を送ってきたのでしょうか。現在、児童福祉施設では子どもの生い立ちを整理する取り組みが始まっています。本講座では、生い立ちの整理に関する事例をもとに、取り組みの中で浮き彫りとなった課題をふまえ、準備から実践までより良い方法を考えていく時間にできればと思います。

- ・グループでのディスカッションも行います。生い立ちの整理に関する事例（施設内で取り組んでいて難しいところなど）がございましたら、お申し込みの際にお知らせください。
- ・これからそうした取り組みを始めたい施設職員の方も参加可能です。その場合はその旨を連絡ください。
- ・社会的養護関係施設に勤務する現場職員の方の参加とさせていただきます。

実践講座⑤ 気になる子どもの保護者に対する子育て支援（徳広圭子）

10:00～11:30 会場：2号館6階264講義室／定員15名

保護者に対する子育て支援を行う際には、各地域や家庭の実態等を踏まえるとともに、保護者の気持ちを受け止め、相互の信頼関係を基本に、保護者の自己決定を尊重することが原則です。では気になる子どもの様子を保護者に伝えるときには、どのようなことに気をつければよいのでしょうか。現場の先生方からよくご質問いただくケースを素材に、保育の専門性を活かした子育て支援について、みなさまと一緒に考えてみたいと思います。

実践講座⑥ 子ども自身の必要感や関心による保育を探る（石田 開）

10:30～12:00 会場：2号館6階266講義室+オンライン／定員20名

領域の「ねらい及び内容」や「育ってほしい姿」には、保育が実現すべき子どもの姿が様々述べられますが、子ども主体の保育において、それらは子ども自身その必要を感じたり関心をもったりすることで達成されるべきものです。そのヒントとして子どもの主体性や自己制御に関連した心理学的な観点をご紹介しますとともに、それらを考慮されていたり難しさを感じておられたりする例について、参加者どうしで情報交換したいと思います。

保育者のための実践講座 参加申し込みについて

ご参加のお申し込み方法

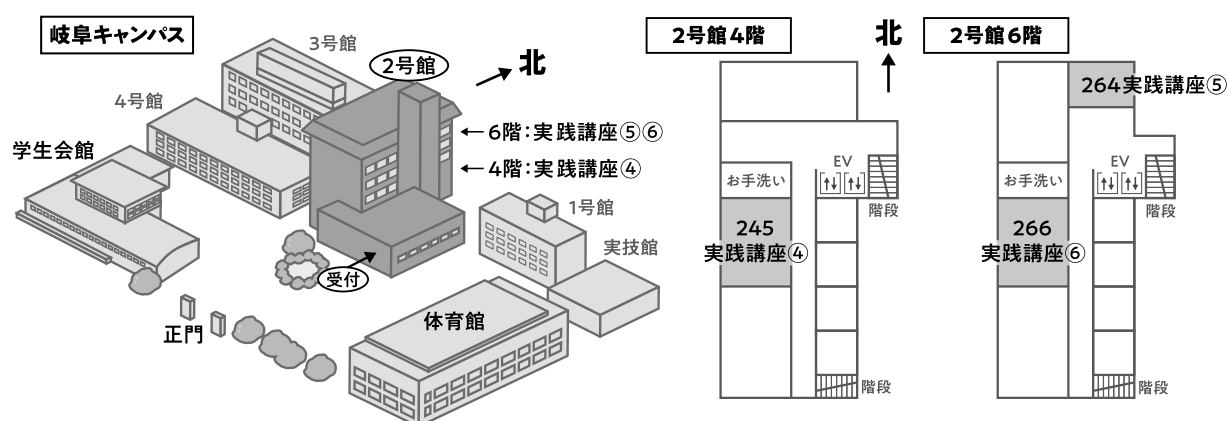
- ①11/11(土)までに、下記URLまたは右のQRコードから、
お申し込みフォームにアクセスして必要事項ご入力ください。

<https://forms.gle/KhsmWqvwx9QJffkY8>



- ②まず、お申し込みを受信したことをお知らせする自動返信メールが届きます。
③その後、1週間程度で担当者から受付確認のメールをお送りします。

会場のご案内



岐阜保育研究会からのお知らせ

「保育者のための実践講座」は、「岐阜保育研究会大会」以外でも、
下記のように実施します。そちらにも、ぜひご参加ください。

(詳細・お申し込み方法等は、下記のURLまたはQRコードから。)

<http://www.shotoku.ac.jp/tanki/2023/05/1619295.php>



実践講座⑦ 睡眠のメカニズムを脳科学から(少しだけ)考える(大西 薫)
12/2(土) 10:30-12:00 会場:岐阜キャンパス +オンライン

実践講座⑧ つくって遊べるウレタン人形(熊田武司)
2024/1/20(土) 13:30-15:30 会場:岐阜キャンパス

実践講座⑨ 歌の常識・非常識 保育者と子どもたちの歌声を考える(長川 慶)
2024/1/27(土) 10:30-12:00 会場:岐阜キャンパス

あそびひろば

体育館 10:30～15:30

本学幼児教育学科の学生が、中心になって企画した「あそびひろば」です。これまでの授業や実習での学び、ゼミでの研究を活かして、さまざまな遊びを用意しています。お子さんと大人の方でのご参加はもちろん、保育現場の先生方も、ぜひお立ち寄りください（開催時間は、企画により異なります）。

企画紹介

①長川ゼミ 子ども向けミュージカル「青い鳥」

子ども向けの楽しいミュージカルです。魔女のおばあさんに頼まれ、チルチルとミチルは妖精と共に幸せの「青い鳥」を探しに出かけました。はたして、チルチルたちは青い鳥を見つけることができるのでしょうか。この作品は学生が出演し、音響、アニメーション、動画編集などすべて自分たちの手で仕上げました。ぜひ、お楽しみください。

②内藤ゼミ お宝見つけてゲットだぜ！

はじめに、的にボールを当てて探すお宝を決めよう！お宝はいろいろな場所に隠されているよ。走ったり、登ったり、投げたり、くぐったり、渡ったり、ジャンプしたりしながら探検して、お宝をゲット！見事、お宝が見つけれたら賞品がもらえるか！？

③田中ゼミ 午前：「お祭り」／午後：「スノードームをつくろう」

「お祭り」では、お菓子釣り、輪投げをして親子で遊びを楽しみましょう。「スノードームをつくろう」では、容器に詰めた洗濯糊の中で、様々な素材の動きを親子で楽しめますよ。

④徳広ゼミ いろいろ！ペッタン？ ペッタンコ！！

いろいろな野菜や手のひらをつかってスタンプで遊びましょう。親子で楽しみながら、その時の子どもの成長記録として、今しかできない思い出の作品を作ってみましょう。当日は汚れてもよい服で来てくださいね。

⑤安部ゼミ フリスビーをサンタさんにヒューン！

おうちにある いろんなものをつかって フリスビーをつくらう！ どれが いちばん とおくへとぶかな？ くらべてみよう！ サンタさんに じょうずに とどいたら おれいに プレゼントがもらえるよ！

⑥石田ゼミ ボールをあてて、フルーツをゲット!
えっ? ミックスジュース!?

ボールをけったりなげたり。まををたおしてフルーツをゲット。
どんなミックスジュースができるかな?

⑦藤田ゼミ はらぺこあおむしになってあそぼう

子どもや大人に根強い人気の絵本、はらぺこあおむし。その絵本の世界観に親しみ、あおむしになりきって遊びましょう。

⑧大西ゼミ あつまれ! ふうせんのくに

みんなだいすき、ふうせんあそび。おねえさんたちがすてきな「どうぶつ」をつくってくれるよ。ポンポンとびはねてもいいね! たくさんのふうせんといっしょにしゃしんもとれるよ。あそびにきてね。

⑨木許ゼミ パーカッション・アンサンブル・コンサート

子どもが大好きなパーカッションを使ってアンサンブルします。みんなが知っている曲をアンサンブルで演奏すると、どんな音楽になるか楽しみにしてください。

⑩熊田ゼミ 『おはなし広場』人形劇をみんなで楽しもう

学生たちが自ら製作した劇を行います。さあ、どんな『おはなし広場』が登場するか、楽しみにしててください。

⑪糟谷ゼミ タブレットであそぼう

タブレットをつかってあそびます。えをかいたり、ビスケットというプログラムをつくったりします。



子ども（親子）向け企画

来場者への会場案内



		10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30
①	子ども向けミュージカル 「青い鳥」			11:10 ~11:50					13:40 ~14:20			
②	お宝見つけてゲットだぜ!											
③	「お祭り」/ 「スノードームをつくろう」				お祭り					スノードームをつくろう		
④	いろいろ! ペッタン? ペッタンコ!!											
⑤	フリスビーを サンタさんにヒューン!											
⑥	ボールをあてて、 フルーツをゲット! えっ? ミックス ジュース!?											
⑦	はらぺこあおむしに なってあそぼう											
⑧	あつまれ! ふうせんのくに											
⑨	パーカッション・ アンサンブル・コンサート		10:40 ~11:00					13:10 ~13:30				15:10 ~15:30
⑩	『おはなし広場』 人形劇をみんなで楽しもう					12:00 ~12:30				14:30 ~15:00		
⑪	タブレットであそぼう											

昼休み
12:30
~13:10

（あそびひろばも
お休みします）

- ・学生の業務分担、材料などの都合により、昼休み以外の休憩、時間の変更、延長、短縮もございます。ご了承ください。
- ・各企画の内容詳細はp.10~11をご覧ください。

岐阜保育研究会第23回大会実行委員会

実行委員長

安部日珠沙 ○

実行委員（五十音順）

石田 開 ○

大西 薫

糟谷咲子 ○

木許 隆

熊田武司

齋藤正人

徳広圭子

田中亨胤

内藤 譲 ○

長川 慶 ○

蜷川祥美

藤田哲也 （以上 短期大学部教員）

協力委員（五十音順）

江口廣晃 （法人本部総務部情報課）

伊夫伎学 （入学広報課）

山田 晃 ○ （岐阜教務課）

○企画委員

岐阜保育研究会第23回大会 要項集

発行日 2023年9月

発行者 岐阜聖徳学園大学短期大学部 岐阜保育研究会

事務局 岐阜聖徳学園大学短期大学部

〒500-8288 岐阜市中鷺1-38 Tel. 058-278-0711(代表)

会場アクセス

会場：岐阜聖徳学園大学〔岐阜キャンパス〕（岐阜市中鷺1-38）



※荒田川の橋は大型車輛通行回（幅員重量制限あり）

公共交通機関（岐阜バス）の場合

- ①名鉄岐阜駅（1番のりば）およびJR岐阜駅（6番のりば）より、「岐阜聖徳学園大学」行または「墨俣」行にて「六条大溝町」下車、徒歩5分（乗車時間約15分）。
- ②名鉄岐阜駅（2番のりば）およびJR岐阜駅（4番のりば）より、「岐阜保健大学」行にて「岐阜保健大学」下車、徒歩5分（乗車時間約18分）。

自家用車の場合

キャンパス南側の2つの駐車場をご利用ください。



岐阜聖徳学園大学
岐阜聖徳学園大学短期大学部

教育学部／外国語学部／経済情報学部
看護学部／短期大学部